

「魅力ある商品づくりのための TRIZ実践講座」1日コース例

- ソフトウェアを利用しないでもすぐ活用できます(御社の業種特性や風土に合わせてカスタマイズ可能) -

「ソフトウェア、ビジネス、材料技術など事例が少なく使えない?」との問い合わせを耳にします。しかし、TRIZはデータベースの中に答えがあるのではないのです。みなさんの考え方(思考停止!心理的惰性!など)を変えていただくのがTRIZの最初の仕事です。使えないと思い込んでいる方は、まず、視野の拡大、日常の業務の効率化や戦略立案から使ってみてください。



2008.03.14現在

タイムテーブル

時間	第1日目
10	講義 「1. はじめに」
11	休憩
12	講義 「2. 思考法の基本」 演習 Q&A
13	昼食
14	講義 「3. TRIZとは」
15	講義 「4. よい特許を出すために」 「5 TRIZの適用事例」
16	休憩
17	Q&A 「6 .解決策の評価」 演習
	講義 「おわりに」 Q&A

プログラム内容例

1. はじめに
 - 1.1 仕事頭(地頭力)とは
 - 1.2 課題・問題点とは
 - 1.3 ものづくりの意味
 - 1.4 マーケティングの原理原則
2. 思考法の基本
 - 2.1 目的展開
 - 2.2 なぜなぜ展開
演習
3. TRIZとは
 - 3.1 創造性開発手法の種類と特徴
 - 3.2 TRIZの由来
 - 3.3 TRIZの体系と考え方
 - 3.4 矛盾と40の発明原理
 - 3.5 Effects(知識ベース)
 - 3.6 進化トレンド
 - 3.7 物質-場分析と発明標準解
 - 3.8 9画面法
 - 3.9 究極の理想解、セルフ-X、リソース
 - 3.10 トリミング
4. よい特許を出すために
 - 4.1 特許の質向上
 - 4.2 よい特許明細書を書くために
5. TRIZの適用事例
 - 5.1 商品開発のマーケティング課題
 - 5.2 材料の商品開発
 - 5.3 半導体包装技術課題
 - 5.4 技術開発課題
6. 解決策の評価
 - 6.1 評価の考え方
 - 6.2 決定分析
演習 演習 演習
7. おわりに